

## 令和元年度緊急需給調整事業の実施状況について

### 1 緊急需給調整事業の運営方針

近年、異常気象等の頻発により野菜の作柄変動が激しくなり、大幅に価格が低落又は高騰する時期が増加しているため、緊急需給調整事業を迅速かつ適切に実施し、円滑な出荷量の調整を通じた価格の安定化を図ることで、生産者の経営の安定化と消費者への安定供給を実現していく必要がある。

このため、緊急需給調整事業の実施に当たっては、急速かつ大幅な価格の低落時には、フードバンクを通じたこども食堂等への提供等の有効利用に努めるとともに、迅速な市場隔離による出荷量調整を行うなど、産地の主体的な取組に対して支援を強化する事業の見直しを行い、価格低落の抑制に努める。

### 2 緊急需給調整事業の見直し

#### (1) 緊急需給調整事業における運用の見直し

出荷団体等が土壌還元を実施する場合において、有効利用用途として、フードバンク活動団体等を通じた社会福祉等を目的とした施設等での使用への仕向けに努める。その内容については、緊急需給調整実施計画に記載する。

また、出荷団体等の市場隔離の一手法として、一時的な保管を含めることとし、有効利用用途及び一時的な保管に係る交付額については、交付金の単価に数量を乗じて得た額から売上額を差し引き（売上額を差し引いて得た額が負である場合は0円とします）、経費を加えた額とする。

#### (2) 緊急需給調整事業における発動基準の見直し

令和2年度より加工用販売及び市場隔離の発動基準を緩和（平均価格の70%から80%に変更）。

### 3 直近の緊急需給調整事業の実施状況

- ・平成24年度 夏秋キャベツ（市場隔離）、夏はくさい（市場隔離）
- ・平成29年度 秋にんじん（加工用販売）

<参考 1> 緊急需給調整事業の実施状況

年度	実施状況	数量 (トン)	交付金 (千円)
平成 19 年度	出荷の後送り : 冬キャベツ、秋冬だいこん 市場隔離 : 秋冬だいこん、秋冬はくさい	4,721	119,455
平成 20 年度	市場隔離 : 夏秋キャベツ、夏だいこん	6,485	208,937
平成 21 年度	市場隔離 : 夏はくさい	1,119	40,284
平成 22 年度	出荷の前倒し : 春キャベツ、たまねぎ 市場隔離 : 夏はくさい	1,503	52,736
平成 23 年度	—	—	—
平成 24 年度	市場隔離 : 夏秋キャベツ、夏はくさい	11,348	355,522
平成 25 年度 ～平成 28 年度	—	—	—
平成 29 年度	加工用販売 : 秋にんじん	1,486	45,890
平成 30 年度	—	—	—

## 〈参考2〉 緊急需給調整事業の概要

- 野菜の中でもキャベツ、たまねぎ等は、露地で栽培されることから天候の影響を受けやすく作柄・価格の変動が大きいことや、消費量が多いことから、これらの価格と供給の安定を図るため、国が緊急需給調整事業を実施しています。
- 価格低落時には、生産者の発意により、生産者も1/2を拠出した資金を用いて、出荷の後送り、加工用販売、フードバンクへの提供、土壌還元等を実施します。価格高騰時には、国が供給の安定に向けた要請を関係者に行うほか、出荷の前倒しを実施します。

### 価格低落時の対策

#### 出荷の後送り

キャベツ、たまねぎ等の露地野菜の出荷を抑制するため、出荷の後送りを実施。

生産者に対しては、後送りによる品質低下相当分を助成。

#### 加工用販売

キャベツ、たまねぎ等の露地野菜の出荷を抑制するため、当初市場向けであったもののうち、供給過剰分を新たな加工用途に出荷。

生産者に対しては、種子・肥料・農薬等に要した物財費相当分の一部を助成。

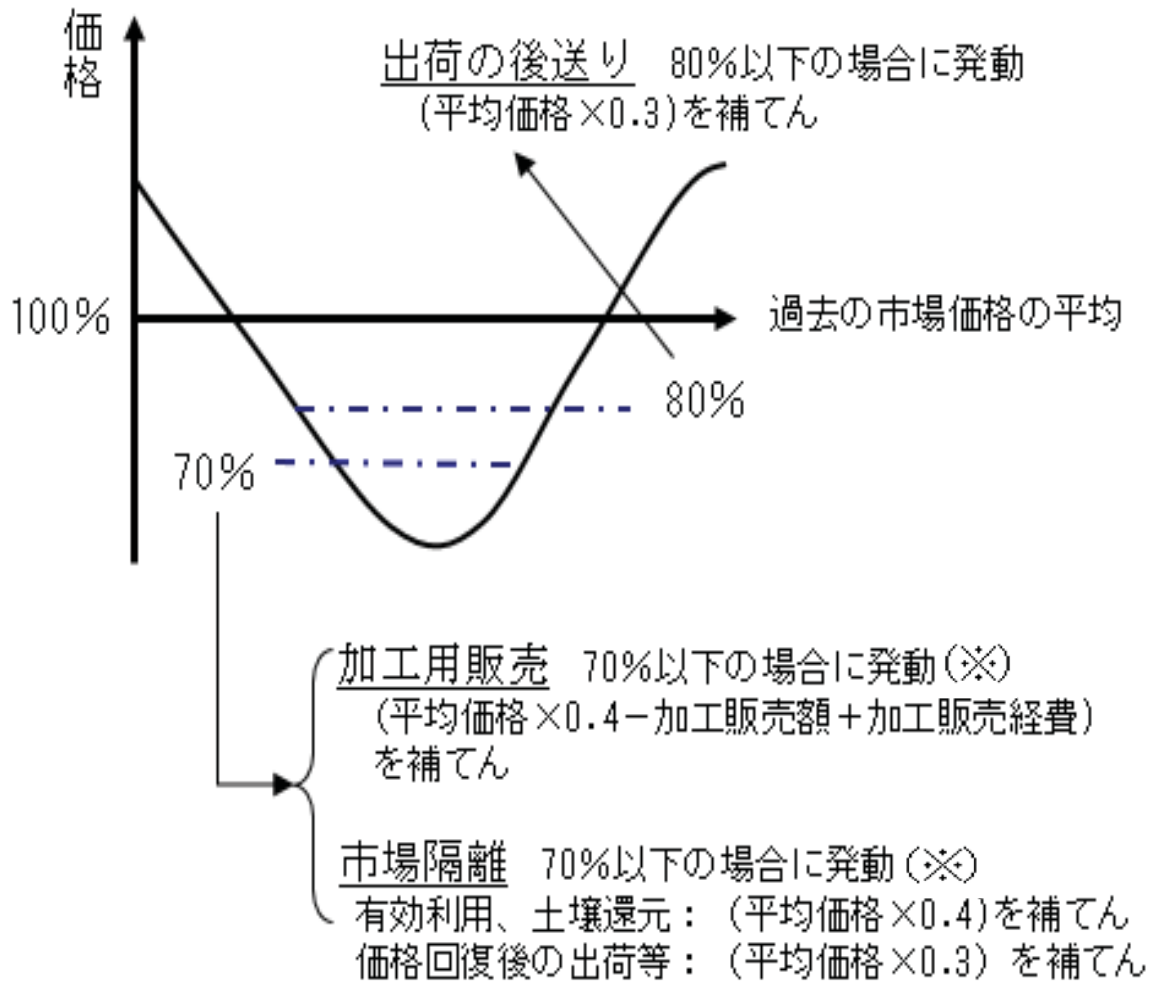
#### 市場隔離

キャベツ、たまねぎ等の露地野菜の出荷を抑制するため、加工、飼料化、フードバンクへの提供等の有効利用に努め、なお過剰野菜が残る場合には土壌還元を実施。

生産者に対しては、運搬費、段ボール等の資材費、出荷作業費、予冷経費、一時保管経費等の一部を助成。

## <価格低落時助成の仕組み>

国50%、生産者50%の拠出により、  
(独)農畜産業振興機構に資金を造成



対象野菜:重要野菜〔キャベツ(周年)、たまねぎ(周年)、秋冬だいこん、  
秋冬はくさい〕  
調整野菜〔春だいこん、夏だいこん、にんじん(周年)、  
春はくさい、夏はくさい、レタス(周年)〕

※ 加工用販売及び市場隔離の発動基準は令和2年4月1日以降80%  
以下に改正。

## 価格高騰時の対策

### ○ 出荷の前倒し

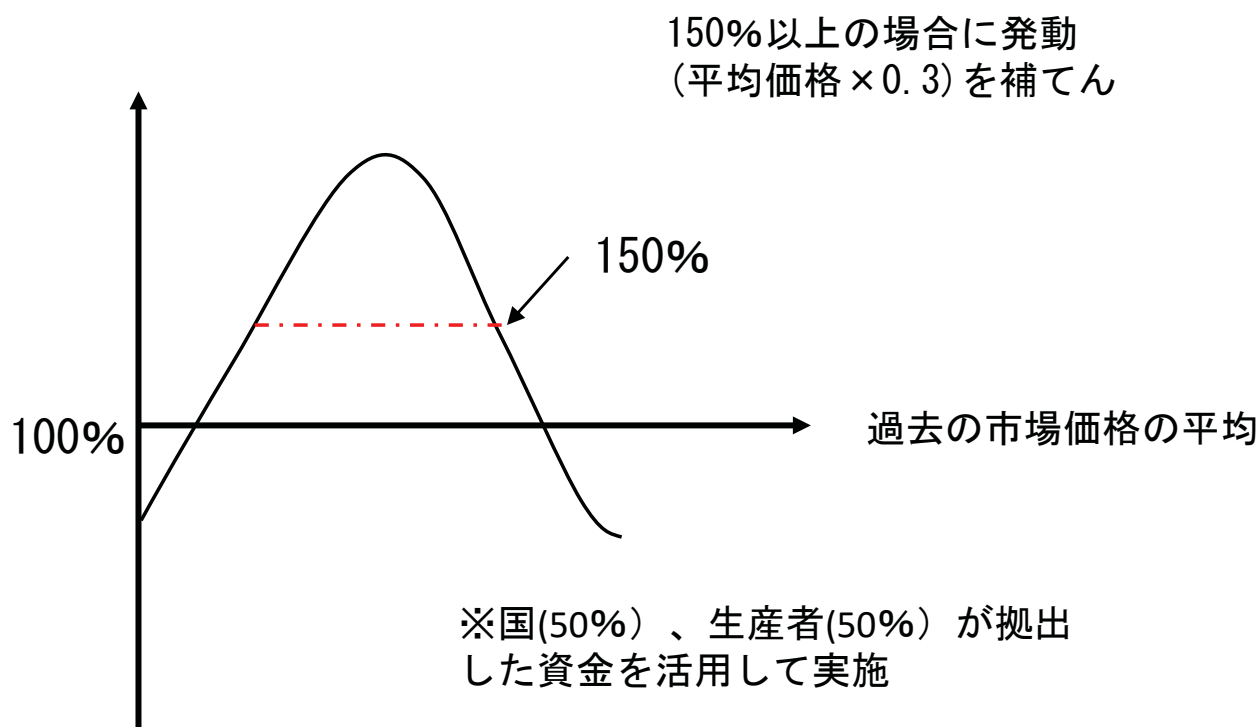
キャベツはくさい等の露地野菜の出荷を促進するため、早取り等により出荷を前倒し。

出荷量を増加させた生産者に対して、早取りによる損失相当分を助成。

対象野菜：重要野菜〔キャベツ（周年）、たまねぎ（周年）、  
秋冬だいこん、秋冬はくさい〕

調整野菜〔春だいこん、夏だいこん、  
にんじん（周年）、春はくさい、  
夏はくさい、レタス（周年）〕

### 〈価格高騰時の助成の仕組み〉



緊急需給調整の流れ

